

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

第4回目 令和7年9月26日 10:00 ~ 10:25

康保会乳児保育所

## 1. 活動のテーマ

テーマ

・光と色で遊ぼう。

テーマの設定理由

・五感を刺激し、好奇心を育む。  
・絵本の世界と現実の世界を結びつける。

## 2. 活動スケジュール

・「星」に関連した絵本の読み聞かせからプラネタリウムの星空を室内に投影させる。懐中電灯を使い星形の模様が浮かび上がる光遊びをしながら絵本の世界と繋がりを持たせる。

## 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

プラネタリウム、絵本「あおいよるのゆめ」「おふとんかけて」「きらきら星」、懐中電灯  
光遊び道具(紙コップ、カラーセロファン、ラップ、輪ゴム)

## 4. 探求活動の実践

活動の内容

絵本の読み聞かせ

絵本の星空のページに合わせてプラネタリウムで室内に星空を投影させる。

「きらきら星」の絵本に合わせて歌を歌いながら、星空を眺める。

懐中電灯を使って壁や天井などに星形を映して光遊びを行う。

活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者とのかかわり

・遊び慣れない環境に戸惑い涙を浮かべる児もいたが、絵本の読み聞かせが始まると自然と集中して活動に参加する事が出来た。  
・部屋が暗くなると驚いた様子も見られたがプラネタリウムが投影されると見入る姿が見られた。  
・「きらきら星」の絵本に合わせて歌を歌うと音楽に合わせて手をきらきらと動かしてみたり、星空を指差して伝えようとする姿が見られた。  
・保育士が懐中電灯を使って星を投影させると「あっ！」と指をさし、触れてみようとする姿を見られた。  
・懐中電灯を自ら手に取って壁や天井に投影させて遊ぶ姿が見られた。  
・手の動きや仕草で星を伝えようとする姿に「お星さまだね」などと言葉にして返すと嬉しそうに笑う姿が見られた。

## 活動中の様子



## 5. 振り返り

### 振り返りによって得た保育士の気づき

- ・1歳児10名での活動となったが環境の変化に敏感な児や部屋が暗くなることで怖がったり、不安を感じてしまうのではと懸念していたが実際には始めは嫌がり泣いていた児も絵本の読み聞かせが始まると自然と絵本に集中し、光遊びにも積極的に参加していた。1名、暗い部屋が苦手な様子で部屋の隅で様子を見ている児もいたが保育士が側について一緒に遊び始めると、落ち着いて参加出来た。
- ・3冊の絵本を使用した。1冊はプラネタリウムを投影した後で懐中電灯の灯の中で読み聞かせを行った。絵本の星と繋がりを持たせた様子で指でさしたり、手をきらきらと動かしてみたり、絵本と星空を交互に見渡したりと各々が楽しむ姿が見られた。
- ・光遊びでは道具の改善点(星はもう少し小さめのサイズで作る、ラップはテープで固定する、補強のため紙コップを二重にする)に留意し次回に繋げる。